（５）**本校の「宝」、学校図書館**

課題研究の授業では、テーマについて深く調べることが必要になります。また、選択授業によっては、各自で調べたり、自分の考えの根拠をつかんだりすることが必要です。本校の図書館は、そんな生徒のために、いつも「フル稼働」しています。

困った時は図書館へ！
図書館は皆さんの人生を応援します！

１０．生活指導について

本校では、学習面では非常に自由度が高く、一人一人の個に応じた教育が推進されています。

しかし、その自由度の高い学習面を支えることができるのは、「自由という行動への責任をしっかりと持つことができる力」、「自分を律し、自己を管理する力」です。

石狩翔陽高校は、こういった点をいい加減にしないよう指導をしています。それは最終的に、社会人としての「自分」を完成させることにつながりますし、「自己実現」の大きな武器になります。

石狩翔陽高校での生活指導

自主・自律 へのステップ
「自己責任」

- 石狩翔陽高校生としての誇りを持てる生徒
- 自主・自律の精神で規律を重んじる生徒
- 「自由」という行動への責任を負える生徒
- 自己管理のできる生徒

自己啓発を意識した指導

時に本校の生活指導は「厳しい」と言われることがあります。総じて「中学校時代より厳しい」と言われます。具体的には、登校時間を守る、挨拶がきちんとできる、制服の美しい着こなし、頭髪の清潔感の維持、授業中私語をせず静粛な中で授業を受ける、スマートフォンのマナーを守って使用する、ゴミの分別をきちんとする、清掃にしっかり取り組む、交通安全の遵守、登下校の交通機関（バス･電車）内で一般のお客様に迷惑をかけないよう利用する・・・

落ち着いた学習環境を保証する、という目的と、最終的には社会で通用する素養を身につけてほしいという願いから取り組んでいます。

１１．進路指導について

＜進学指導＞

平常講習、春・夏・冬期講習、職業意識の高揚をはかる諸活動、作文指導、面接指導などによって、生徒一人ひとりの進路希望に即した指導を行っています。最近は、大学等の入試方法が多岐に渡っています。一般入試はもとより、推薦入試・指定校推薦入試・ＡＯ入試など、様々な方法でチャレンジする機会が与えられており、募集人数も増加の傾向にあります。

本校では１年次から多くの経験や体験を通して、進路について考え、早い段階で進路を明確にすることができるので、実現に向けた取り組みを早くスタートさせることができます。

上級学校は、目的意識のある生徒を求めています。「推薦入試」の機会が増えた今日、学ぶことに対する目的意識、社会に出るに当たっての目的意識が問われます。「産社」や「課題研究」の取り組みは、社会に対する目を広げ、目的意識を高めるのに格好の取り組みです。

また選択科目で受験に必要な科目を重点的に学ぶということもできます。

当然ですが、進学のさらにその先には「就職」があります。下の＜就職指導＞もよく読み、理解して下さい。

進路実現をめざして

- **上級学校への進学**
  - 一般入試
  - 推薦入試・AO入試・資格による入試
  - 指定校推薦・総合学科推薦
- **資格を生かした就職活動**
  - 資格は一生もの
  - 実社会で役立つ知識や考え方を学ぶ

＜就職指導＞

「やりたい仕事」ではなく「やれる仕事」「やってみようと思う仕事」から企業を選んでいかねばなりません。本校では「やれることを増やす」をキーワードに指導していきます。

これは、学習成績・出席状況の向上や資格・検定の取得等ももちろんですが、高校３年間の「生活全般」の中で行います。

「真面目さ、素直さ」はもちろん大切です。しかし、今の企業は、残念ながらそれだけでは採用してくれません。多くのことにチャレンジし、多くの失敗を経験し、それでも前進しようとする「たくましさ」を何より求めます。部活動や行事への取り組みといった、日常生活のあらゆる面で「チャレンジする場面」が毎日訪れます。検定などの取り組みもその一環ですが、「資格」があるからといって採用が有利になるとは限らないのです。検定への取り組みを通じて、自分の人間性を高めていくことが求められているようです。翔陽生には、入社後もっとも苦労するといわれる人間関係面も含め、毎日を逃げずに、少しずつやれることを増やしていくことを勧めています。

同時に、「産社」「課題研究」などの総合学科独自の学習を通して「今の世の中の課題」に気づき、「自分はこのように貢献したい」という“願い”を持って社会に出てほしいと考えています。どのような職業においても、「社会に貢献したい」という意識が求められているからです。

１２．おわりに

ここまで資料を読んでいただき、ありがとうございます。ここに紹介したものは、本校の教育活動のほんの一部に過ぎません。学校生活や行事、部活動の様子については、学校パンフレットや本校ＨＰなどを参照にして下さい。また、わからないことがあれば、何なりとお問い合わせ下さい。

最後に、「課題研究」に関するアンケートの抜粋を紹介します。

「令和元年度　課題研究　生徒アンケート」　（抜粋）

～令和2年１月実施　対象：本校３年次生～

（問）課題研究を通して学んだこと、得たこと、役に立ったこと、成長できたことは何ですか。

○ 自ら発見したり行動することにより、普段知ることのない深い部分を学ぶことが出来ました。また、社会に出たときに必要なプレゼンの仕方、自分の意志をはっきり伝える力、勇気が得られました。

○ １つのテーマについて１年間時間をかけて調べるという経験は、大学での論文や就職したときに必ず役立つと思います。自分の夢に向かって、苦手を克服しようとした人もいました。この課題研究は、今後の人生に少なからず良い影響を与えると思います。

○グループディスカッションやゼミ内発表を通して、話すスピードや資料のまとめ方、聞きやすさを主観的に考えるのではなく、客観的に考え、原稿を作れるようになった。

○ 調べることの楽しさと、ネットや本にある情報が全て正しくて新しい情報ではないということを学んだ。また、それを見定めていくのは難しいが大切なことだと学んだ。

○ 問題に対して、様々な対応策を考えられるようになった。たくさんの資料を読んで、この中でどれが最も大切か読み取る力もついた。

○ 人それぞれで同じテーマであっても見方が全然違うことに気が付きました。また、発表が苦手だった自分が段々と慣れて発表できていることに成長したと感じています。

○ 一つの事に対して深く長く取り組むことで、物事を理解する力、学んだことを人に自分の言葉で伝える力がつきました。

○ 学んだことは、自分だと一生気づかないことについて調べている人がいたり、１８年間聞いたことない名前や物を沢山知ることが出来て、みんな顔が違うのと同じように、様々な研究を聞くことが出来て勉強になった１年間だった。

はばたけ、自分。はばたけ、未来。

～広がる想い無限大～

・自分の選択した授業で、自分を創る
・翔陽の行事や部活動で、仲間とともに自分を創る
・独自性を活かした翔陽の総合学科で、自分を創る

※本校ホームページ
アクセスＱＲコード